

CHRISTIANA FIGUERES

LONDON
SPEAKER
BUREAU

- Executive Secretary UN Framework Convention on Climate Change (UNFCCC) 2010-2016



「私はKLを拠点とするLSBアジアチームとの共同作業を非常に楽しんでおり、彼らのプロ意識を証明することができます。脱炭素化の必要性が非常に緊急であるので、私は彼らがカーボンニュートラルを達成することへの彼らのコミットメントを称賛したいです。」

Christiana Figueresは、地球規模の気候変動に関する国際的に認められたリーダーであり、最近の国連気候変動枠組条約事務局長^①UNFCCC^②です。

フィゲラスは、2009年のコペンハーゲン会議の失敗した会議の後、国際的な気候変動交渉の責任を引き受けました。そして、彼女はプロセスを普遍的に合意された規制の枠組みに導くことを決心しました。その目標に向かって構築し、彼女はカンクン2010年、ダーバン2011年、ドーハ2012年、ワルシャワ2013年、およびリマ2014年の成功した締約国会議を指揮し、2015年の歴史的なパリ協定での彼女の努力の頂点に達しました。

彼女の在任期間を通じて、クリスチアナは全国と地方政府、企業と活動家、金融機関と信仰共同体、シンクタンクと技術提供者^③NGOと国会議員を結びつけて前例のない気候変動協定を結んだ。この業績のために彼女は共同ブランドの外交の新しいブランドを偽造したと信じられています。

最も弱い立場にある人々を気候変動の最悪の影響から守り、安定と繁栄の時代を迎えるために、世界が2020年までに温室効果ガス排出量曲線を確実に曲げようと努める世界的イニシアチブ、ミッション2020の招集者です。

彼女は地球規模の気候変動の分野で長い歴史を持ち、1995 - 2009年のコスタリカ交渉チームのメンバーであり、正式に事務局に加わる前にUNFCCCのガバナンスにおいて多くの重要な役割を果たしてきました。

彼女は1982年にドイツのボンにあるコスタリカ大使館で大臣顧問として公務員としての生活を始めました。彼女はアメリカに移り、アメリカの再生可能エネルギー担当ディレクター^④REIA^⑤を務め、1995年に非営利センターを設立しました。彼女が8年間指示したアメリカの持続可能な開発^⑥CSDA^⑦

Topics

- Climate
- Environment
- Leadership